

支部大会も成功させよう

第12回大会 方針も、 貫徹しよう

日刊
動労千葉

87.11.10

No. 2699

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七二〇七

動労千葉は、「四・一」以降、満身創痍となりながらも、断固として闘いの旗と団結を守りぬき、強制配転攻撃にも挫けず、強制出向攻撃に対しては、圧倒的にスト権を確立して敵をおいつめた。更に、第十二回定期大会では、五つの鮮明な闘う方針を確立し、いよいよ新たな前進を開始している。

また、全国に目を向ければ、動労水戸地本の組織ぐるみの新労組結成の快挙ががちとられ、動労総連合も、各地で意気揚々と闘いを続けている。他方、革マル・鉄道労連の内部はガタガタである。

われわれは、たしかに不当解雇され、清算事業団に送られ、強制配転され、人を人とも思わぬ労務支配の下におかれて、一時もそのくやしさを、怒りを忘れた時はない。しかし、それ以上に、この間の不屈の前進は、動労千葉のど根性を示すものである。

確固不拔の支部体制をつくりあげよう

われわれは、新たな一歩を踏み出さなければならぬ。現在のわれわれにとって、最も重要な課題は、第十二回大会方針を全職場で徹底的に討論し、血とし肉として、その下に確固不拔の支部体制をつくりあげることだ。われわれは、第十二回大会で、不当解雇・不当配転を粉碎し、原職奪還をかちとるその日まで、どんな困難があろうと、たとえ何年かかろうと、あくまでも闘いを貫く方針を決定した。そして、その先頭に被解雇者がたつことを決意した。すでに、解雇された仲間、全国各地に飛んで闘いを展開している。血を流しても守りぬいた団結を更に強化し、「四・一」体制を粉碎するために、職場内外を呼びかけた闘いを全力でつくりだそう。われわれは、全員が活動家となり、新たな役員となって、処分・弾圧で動労千葉を弱体化させようとする敵の狙いをうち砕く。全力をあげて、各支部大会の成功をかちとろう。



- ① 全組織をあげて、不当解雇、清算事業団強制配属撤回・強制配転粉碎し原職奪還の闘いに総決起しよう。
- 勝利のために、被解雇者を先頭に、闘う事業部運動に総決起しよう。
- ② 全支部でストライキ体制を堅持し、強制出向反対闘争・強権的労務支配粉碎の闘いをより強化しよう。
- ③ JR当局の目にあまる運輸保安無視を許すな。新たな決意で反合運輸保安闘争に総決起しよう！
- ④ 革マル鉄道労連解体、労働戦線の右翼「統一」に反対し、闘う労働運動の旗を守ろう。
- ⑤ 三里塚労農連帯をより強化し、日帝の戦争政策をうち砕こう。